

校種 (学級種別)	中学校 (知的障がい特別支援学級)	本事例の 教科等名	自立活動
在籍児童 生徒の実態 (1学期)	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち解けておらず会話が固い ・困っていることがあっても黙っていることがある ・自分にとって都合の悪い状況では、問いかけても一切話さなくなることがある (昨日、宿題をする時間がなかった?などの問いかけに対して)	目標 ・ 指導 内容	目標 ○相手とのコミュニケーションの取り方について適切な方法を知る。 指導内容 ○カードやすごろくを使った会話練習
指導の経過・ 工夫点・子ども の変容	<p>○話しやすい話題(質問)を集めたカードとスゴロクを作成した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><本時の目標>友だちや先生ととスゴロクをして、楽しみながらスムーズな会話を成立させよう。困ったときは、「○○の部分がわかりません、○○ができません」と、言葉で伝えよう。</p> </div> <p>○質問の解答がわからないときは「わかりません」と明確に意思表示するようにした。</p> <p>○ゲームの中で困ったときには「○○がわかりません」、指示されたことができないときには「○○ができません」と自己の状況を具体的に説明するようにした。</p> <p>○ゲームの中で上手に受け答えができた部分や、「わかりません」などの状況説明ができたときには必ず褒めて、成功体験として蓄積できるようにした。</p> <p>(変容) マスの指示に従って楽しく話すことができ、授業後も教師や級友と談笑する姿が見られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="435 1290 887 1630" style="text-align: center;">  <p>楽しく話すことに焦点をあてたスゴロク</p> </div> <div data-bbox="930 1301 1382 1630" style="text-align: center;">  <p>「トーク」のマスに止まったら引くカード</p> </div> </div>		
成果と課題・ 今後の方向	<p><成果>年度当初に比べて、褒められる回数が増え、自分の状況をうまく説明できるようになっている。</p> <p>今でも時々スゴロクをするが、楽しみながら表現活動ができている。</p> <p><課題・今後の方向>自分の都合のよくない状況で、時々、緘黙してしまうことがある。自分の気の進まない話題であっても、上手に状況説明ができるように練習場面を設定して、スキルとして身につけさせたい。</p>		